

○全日本障害馬術大会Ⅱ

1月14日～16日、三木ホースランドパークで第73回全日本障害馬術大会Ⅱ(2021年度)が開催されました。遠野産馬8頭が出場し、中障害Dで鯨岡啓輔選手騎乗の遠宝18(ペガサス乗馬クラブ)が優勝しました。



中障害Dで優勝した遠宝18と鯨岡啓輔選手 待機馬場にて

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.63

2022年2月1日

○多くの人に支えられて

今大会では、遠宝18と同じ競技に出場した阿日塔選手とナイルゲームスターAⅡ(Tokaiホースパーク)が3位入賞、また内国産競技で鯨岡啓輔選手とアルテミス(ペガサス乗馬クラブ)が2位入賞するなど遠野産馬が活躍しました。いろいろなライダーや関係者の方々が遠野産馬に関わり、大切に育ててくださっていることを感じました。



ナイルゲームスターAⅡと阿日塔選手



セルヴィスと西脇小夜子選手



ピクテリアローズAと尾藤緑育選手



アルテミスと鯨岡啓輔選手



リアンハタンゴ7Aと井澤優選手



ハイテペガサスと鯨岡啓輔選手

このほかダービー競技にはフロムAと西野高啓選手(岡山乗馬倶楽部)が出場しました。競技の詳細は日本馬術連盟のHPをご覧ください。

<https://www.equitation-japan.com>